

関東大震災時の朝鮮人虐殺85年

2008『在日朝鮮人歴史・人権週間』全国集会（埼玉・大宮） 8/30～31

*ここで使用する「朝鮮」とは南北朝鮮全体を包括するものであり現在の国籍に限定されない概念である。

主旨：2003年8月、日本弁護士連合会は関東大震災時の朝鮮人虐殺について「虚偽事実の伝達など国の行為に誘発された自警団による虐殺」として日本政府に「責任を認めて謝罪すべきである。」と勧告した。しかし、5年を経たが、「責任も謝罪」もなされていない。今、この事件を歴史的な事実に基づき人権との視点で全面的に検証する。日本と南北朝鮮そして在日との真の和解と新たな未来に向けて。

2003年虐殺事件のあった東京荒川河川敷での公演→



● 8/30午後1時開始 埼玉県・大宮ソニックシティ4F国際会議室

資料代1,500円

(JR大宮駅から徒歩1分) 上野駅から25分(JR高崎宇都宮線)/新宿駅から27分(JR湘南新宿ライン)

学生1,000円



● ロビー「裴昭」写真展（関東大震災・強制連行・日本軍「慰安婦」）

(裴ソ)：フォト・ジャーナリストとして「朝日新聞」「東京人」「週刊新潮・文春」などを中心に、日本の国際化をテーマとした作品を発表。「鎖国ニッポンが多民族国家になる日」で第28回平凡社準太陽賞を受賞。

● オープニングセレモニー 劇団タルオルム 遺族の証言

劇団タルオルム：在日の若い世代で構成され日本語はもちろん朝鮮語での海外公演も行っている。人権週間賛同公演。

遺族の証言：東京品川で知人が虐殺されるのを目撃し、日弁連に申立を行った故文成仙氏の長女。

● シンポジウム 「今問われる真実と責任、そして現在」

石田 貞：「内務省」→「県」→「市町村」→「自警団」 埼玉県朝鮮人強制連行真相調査団日本人側代表

『増補かくされていた歴史-関東震災と埼玉の朝鮮人虐殺事件-』(1987.7) 主任調査委員等

山田昭次：朝鮮人虐殺6000人・自警団に対する判決 立教大名譽教授

『関東大震災時の朝鮮人虐殺：その国家責任と民衆責任』(創史社)、『関東大震災朝鮮人虐殺問題関係史料』(緑蔭書房)等

梓澤和幸：日弁連勧告の主旨と再発防止

弁護士 元日本弁護士連合会人権擁護委員、関東大震災事件委員会委員長『報道被害』(岩波新書)、『在日外国人：弁護の現場から』(筑摩書房)等

前田 朗：ジェノサイドそして現在

東京造形大教授(刑法)・在日朝鮮人・人権セミナー事務局長『ジェノサイド論』(青木書店)、『戦争犯罪と人権』(明石書店)等

● 全国から(報告) (閉会午後5時頃)

● レセプション 午後6時 参加費5000円

● 8/31 フィールドワーク 午前9時大宮駅前集合→常泉寺(追悼碑)→吉見(強制連行地)→JR鴻巣駅(12時解散) *マイクロバスの定員の関係上要予約。

*東京、大阪、群馬、千葉、神奈川、西東京等で賛同企画開催。(詳細は平和フォーラム・朝鮮新報等のホームページ参照)

2008
在日朝鮮人
歴史・人権週間



●主催：「在日朝鮮人歴史・人権週間」実行委員会

共催：埼玉県実行委員会

共同代表：清水澄子(平和フォーラム副代表)、原田章弘(朝鮮人強制連行真相調査団日本人側共同代表)、床井茂(在日朝鮮人人権セミナー代表)、高德羽(調査団朝鮮人側中央本部代表)、柳光守(在日本朝鮮人人権協会中央本部顧問)

事務局：(東京) 平和フォーラム 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 T 03-5289-8222 F 03-5289-8223
(大阪) 空野佳弘法律事務所 大阪市北区西天満6-7-4 T 06-6361-5488 F 06-6361-5486
(現地) 埼玉県朝鮮人強制連行真相調査団 浦和市岸町3-3-23 T 048-822-5111 F 048-822-5115